

4日

### 《5月企業倒産10件》

帝国データバンク福島支店が発表した5月の県内企業倒産状況によると、法的整理による倒産件数は10件（前年同月比3件増）、負債総額は13億5,600万円（同6億8,400万円増）だった。同支店は、新型コロナの5類移行に伴う助成金制度の終了などで、事業継続困難となった事業所が増えたとみている。

5日

### 《合計特殊出生率1.21、最低更新》

厚生労働省が発表した2023年の人口動態統計（概数）によると、本県の合計特殊出生率は1.21（前年比0.06ポイント減）となり、4年連続で過去最低を更新した。出生数は、初めて1万人を割り込んだ前年から690人減少し9,019人だった。

### 《市町村予算、3年連続増》

県が発表した県内59市町村の本年度普通会計当初予算の概要によると、総額は1兆764億9,699万円（前年度比2.0%増）となり、3年連続の増加となった。県によると、物価高騰に伴う補助やふるさと納税の増加などで歳入歳出が拡大した。

11日

### 《民宿いなりや、総合部門1位》

リクルート（東京都）が運営する旅行サイト「じゃらんnet」は、2023年度の「じゃらんアワード」を発表した。同サイトのクチコミ評点が上位の宿泊施設に贈られる「泊まって良かった宿大賞」の総合部門で、ぬくもりのいろり宿 民宿いなりや（下郷町）が50室以下で1位に輝いた。

18日

### 《5月新車登録台数、5カ月連続減少》

福島運輸支局が発表した5月の県内新車登録・届け出台数（軽自動車と小型二輪車を含む）は4,846台（前年同月比9.2%減）で5カ月連続で減少した。軽自動車や貨物車などを除く乗用車は2,487台（同6.9%減）、軽自動車は1,830台（同13.9%減）だった。

20日

### 《若者帰還、働く場課題》

県は首都圏で暮らす本県出身の若者を対象に初めて行った実態調査（速報値）で「県内への就職や転職を検討したことがある」との回答が4割超に上ったと明らかにした。「検討したことがない」と答えた人を含め、県内に戻らない理由には、収入面や希望する仕事がないことを挙げる声が多く、若者にとって魅力的な働く場の確保が喫緊の課題となっていることが浮き彫りになった。

21日

### 《県内移住、過去最多更新》

2023年度の県内に移住したのは2,437世帯、3,419人でいずれも過去最多を更新した。首都圏からの移住者が半数を占め、人口減少が課題となる中で、本県が魅力的な移住先として選ばれていることが示された。県はさらなる呼び込みに向けて移住・定住の施策を強化する。

22日

### 《相馬双葉漁協、水揚げ量5,064t》

相馬双葉漁協の2023年度の水揚げ量は5,064t（前年度比417t増）となり、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故の発生後、初めて5千tを超えた。一方、水揚げ額はスズキや単価の高いタチウオなどが不漁だった影響で29億7,726万円（同1億4千万円減）と落ち込んだ。

27日

### 《賃上げ平均下回る》

内閣府が初めて公表した地域課題分析レポートによると、2024年春闘の都道府県別の平均賃上げ率が判明した33道府県のうち、本県（4.83%）など23道府県で全国平均の5.08%を下回った。製造業の大企業が立地していない地域は低い傾向にあると分析しており、地域間格差が鮮明になった。

### 《1～3月県内訪日客最多》

今年1～3月に県内を訪れた外国人宿泊者（従業員10人以上の宿泊施設）は延べ10万6,590人で、前年同期の2.7倍に増え、過去最多を更新した。福島空港との定期チャーター便が再開した台湾からの来県が約6割を占めた。